

おうちの図工室・美術室

伝えたいな 見えない「いいな」

対象学年 中学校 2～3年生

想定時間 最低1時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

あなたの身の回りを見わたして、「いいな」「素敵だな」と感じるものはありますか？きれいなコップ、かわいいぬいぐるみ、かっこいい文房具、いろいろあることと思います。では、今度は目をつぶってみてください。目をつぶっても、「いいな」「素敵だな」と感じるものはありますか？見慣れた日常生活の中でも、いろんな匂い、手触り、温度や音などがあるかもしれませんね。あなたが見つけた、見えない「いいな」を、今、離れて過ごしているお友達に伝えるとしたどうしますか？言葉だけでなく、形や色も使って表してみましよう。

- 「いいな」と感じた月、日、曜日、時間、場所も書いてください。書き方は自由です。
- パソコンで作っても、画用紙や、コピー用紙に絵の具や、ペンで書いてもいいです。あなたならどうやって何を目に見えない「いいな」を表しますか。
- 用紙の大きさもあなたが自由に決めてください。
- 実際に伝えられないような人を想定してもかまいません。
- 作品とは別の紙に、あなたが見えない「いいな」を見つけた時に思ったことや考えたことなどの感想を書いてください。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、写真にとって、下のアドレスまで添付で提出してください。そのとき、別の用紙に書く文章は打ち込んでくださいね。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

共感性

自分が感じていることを、他者に伝えようとする中で、自分自身の生活への価値観を再認識するだけでなく、自他との価値観の相違点や共通点について考えます。他者の価値観を想像することは、他者理解や他社受容への素地を培います。

深く見つめる

視覚だけでなく五感全てを使って、今の自分自身の身のまわりへの美的価値を感じとります。

三観点

知識・技能

家にある、素材や道具を活用し、自分が感じ取ったことを表現しようとしている。

思考・判断・表現

他者に伝えられるように、自分が感じ取ったことを形や色、言葉に置きかえて表現している。

主体的に学習に取り組む態度

五感を使って身の回りにあるよさやうつくしさをとらえようとしている。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

使用した材料・道具

色画用紙、刺繍糸、花紙、羊毛フェルト、ストロー、ビーズ、はさみ、ボンド



また一緒に食べようね

甘さが口の中いっぱいひろがって

なんだかクレープのいい香り

「笑顔ひろがるクレープ」

「いいな」と感じた月、日、曜日、時間、場所

4月23日木曜日 14時、リビング

妹と一緒に、お昼のおやつとして、いちごクレープを作りました。クレープ生地を焼いているときの香りが部屋に広がりました。妹はいちごが大好きなので、生クリームとイチゴをクレープ生地にはさみました。生クリームを絞り出す感覚が気持ちよかったです。食べた瞬間、口の中でいちごの甘酸っぱさと、生クリームと生地の甘さがひろがりました。「おいしいね」といって一緒に食べると、もっとおいしく感じました。なので、食べ終わってしまうことが、少し寂しかったですが、また一緒につくる約束をしたので、楽しみが1つ増えました。

使用した材料・道具

画用紙、マスキングテープ、はさみ



これらも大切に
使っていきたい

使っている時
ホッとすると

持った時は
少し冷たく
感じるけれど

「いいな」と感じた月、日、曜日、時間、場所

4月24日金曜日 15時、勉強机

私は、いつも家で使っているお気に入りのコップがあります。それは、友だちからもらったコップです。見た目がカッコよくて、手に持ったときは少し冷たく感じたりします。でも、コップの飲み口の口あたりもよくて、表面も両手を添えやすく、ホッとする時間を過ごせます。これからも大切に使っていきたいです。

「大切なコップ」

おうちの図工室・美術室



サイズ：はがきサイズ画材：ポスターカラー、ラメ、接着剤

感想：私が見つけた「いいな」は、自分の部屋の小さな窓から吹く朝5時の風です。私は寝るのが下手で、眠れないまま朝を迎えることがしばしばあります。しかし、それは私にとってそんなに嫌なことではありません。なぜなら、この朝5時の空気を感じることができるからです。夜と朝が混ざったような時間で、空の色の境界はぼやっとしているけれど、すきっとした風が体にスーッと入ってきて、私を癒してくれます。私はこの「いいな」を遠くに住んでいる友達に伝えたいと思ったので、はがきサイズにしました。目に見えない「いいな」を探すというのは、自分だけのお気に入りを探しているような気分で、ほかの友達作品を見るのがとても楽しみになりました。また、どうやったら伝わるだろうかというのを考えるときに、私は言葉というよりもイメージや雰囲気が浮かぶことが多く、そのようなものも表現できる絵って便利だなと思いました。

使用画材：色鉛筆、コンパス

私がいいなと思ったものは、夏の思い出です。去年の夏で一番思い出に残っているのは友達の笑い声です。塾からの帰り道に夜の公園でみんなで笑い合ったことを思い出しながら制作しました。友達一人一人の笑い声や性格を考えながら描くことができました。そのことで笑い声だけでなく些細なことでも楽しめる友達へのいいなと思えるポイントをたくさん発見できました。

